

令和5年度自転車安全整備技能検定  
学科試験における誤採点について

令和5年度自転車安全整備技能検定学科試験におきまして。計7間について誤採点が判明いたしました。その内容については、次のとおりです。

受験された皆様をはじめ、関係する皆様に深くお詫び申し上げます。

1 内容

- (1) 3問は同一の間であり、「スポーク張力計（スポークテンションメーター）は、適正な事業所の基準で定める工具に含まれる。」で、A日程の間20、C日程の間19、E日程の間32に出題されました。回答は○ですが、誤って×で採点したものです。
- (2) 3問は同一の間であり、「スポーク張力計（スポークテンションメーター）は、適正な事業所の基準で定める工具に含まれない。」で、B日程の間43、D日程の間8、F日程の間48に出題されました。回答は×ですが、誤って○で採点したものです。
- (3) 1問は、「普通自転車の点検整備マニュアルにおけるブレーキの点検項目は、ブレーキの大きな遊び、ブレーキレバーの固すぎ、ブレーキレバーの戻り不良、ブレーキの片利き、片当たり、ブレーキの利きすぎ、ブレーキブロックの取り付け位置のずれ及び摩耗の6点である。」で（波線の部分が「甘さ」が正しい）、A日程の間16に出題されました。回答は×ですが、誤って○で採点したものです。

2 合否判定の再実施

正しい採点により再度採点しましたが、不合格が合格となった方、合格が不合格になった方のいずれもありませんでした。